

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	3月に運営方針を地域と密着できるように変更した	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	いつも見えるところに貼り、ミーティング等でも再現し言いあい実践している	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	平成20年3月3日第9回運営推進会議にて報告。賛同を得た	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会長さん等含む民生委員、婦人会、ボランティア、他事業所のケアマネージャーさんが立ち寄られる	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域の清掃活動に参加 ・地域のお祭りに参加 ・ふれあい喫茶に参加	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	外部評価などを参考にしている 近づけるように意識をもつ	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営推進会議で外部評価のことは報告し意見を求めている	2~3ヶ月に1度は行事など催し物の後に参加してもらい 家族や地域の方の負担にならないように考慮する
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	地域包括支援センターと取り組む	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	安心サポートセンター職員は月1回来訪されている	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	資料回覧して意見交換している	新聞など切り抜きにて読む それについて話をする

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者同士の会話を良く聞く	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	電話手紙又あさがお便り又は面会時をとらえてする	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営推進会議時に話をもうける	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	管理者は気安く話し吸い上げ、それらを会社の会議で提案するようにしている	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	利用者とスタッフ1対1で買い物、外食などに出かけたり、外出する行事などにも対応できるようにしている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しいスタッフが偏らないように、又慣れてきた状況のもとで異動するように配慮は必ずしている</p>		<p>他フロアーのスタッフも他フロアーの利用者に声掛けや必要時情報の交換をする</p>
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々に勉強又は古いスタッフが新しいスタッフを指導する</p>		
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ケア会議又は個人的に同業者と関係をもち教えあう 法人内の管理者同士で教えあう</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者は会議で悩みを聞く機会を持つ 管理者はスタッフへは新年会・忘年会などをしたり、又個人的に数名で悩みを聞いたりリラックスできる機会をつくる</p>	○	<p>リーダー・サブリーダーがこまめに小さなずれ、悩みを発見し努力している</p>
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>働く環境・条件が少しずつでも改善できるよう努める 夜勤時間、早出遅出手当、正規職員への道など改善できている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>普段からよく観察し、いつもと様子が違えば早めに対応している(こちらから声かけし、座って視線をあわせじっくり話を聞く)</p>	○	<p>利用者との会話の中から好みを知ろうとする。話しやすい、聞きやすい雰囲気をつくる</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>問い合わせの電話や来訪時、話をしやすい雰囲気です接するよう心がける</p>	○	<p>管理者だけでなく、スタッフが家族に日頃の様子、変化等話するようにしている</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>紹介をうけたケアマネージャーにも意見を聞いたり、通っていたデイサービスや病院などよりアドバイスをもらう</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前におやつや時間等に来訪してしばらく過ごしてもらい、管理者が自宅訪室し関係をつくる。家族さんも入所前に来訪し、良いイメージをもって利用者に話してもらい</p>	○	<p>申し込み時より家族の悩みなどを聞き、信頼関係を築いていくことが利用者さんに伝わっていく</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家事等を一緒にしている(食事の仕度、配膳、せんたくたたみ、掃除)</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族さんの面会に利用者は何をのぞんでいるかなど少し話し、家族さんの体調などを聞いて協力を仰いでいる</p>		<p>利用者さんが不穏時は電話で家族さんの協力をあおぎ話をしてもらっている</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>手紙やあさがお便りや写真などを送って、面会の少ない方には身近に今の利用者さんの姿を感じられるよう努めている</p>		<p>面会時に利用者さんの近況を報告できている</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>どなたでも面会に来れる雰囲気を保つ</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>席替えなどを時折して、利用者同士のコミュニケーション、スタッフとのコミュニケーションに変化をもたせる</p>		<p>利用者同士お互いに負担にならないよう、距離を保っているように配慮している</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>長期入院のための契約終了の方が多いので、退院後の行き先も紹介したり、相談にのったりしている 家人より死亡されても礼の電話などかけてきてくれる</p>		<p>退所した利用者の家族さんとあいさつを交わしたり、入院や他の施設に行かれた利用者さんには面会などに行ったり、郵便物を預かったりしている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人に外出、通院の希望など安心サポートや福祉関係との話し合いをもうけて利用者の希望に添えるよう努力している 本人の希望で買い物される</p>	<p>利用者さんとの会話から思いを聞いたり、スタッフから問いかけてみて意向を把握したりしている</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前に利用者の年代別生活の様子など家族にできるだけ記入して頂く、又面会時たずねたりする</p>	<p>利用者本人にも昔話など機会があれば、入浴の時、外気浴、作業しながらの会話に取り組む</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>バイタルチェックや食欲や睡眠状態や心の動きやいつもと違う変化を早く発見し情報を共有している</p>	<p>申し送りやミーティング中に些細な利用者さんの変化、出来事を話し合っている</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画など面会のときに見ていただいています</p>	<p>スタッフの意見や家族の意向を統合して、利用者本位になるように計画する</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎日申し送りの後、ミーティングを行なっているので検討している</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアノートに記入して、実践の様子、結果など記入 介護日誌に変化を書く		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			家族さんや利用者の希望により、さくら整骨院通院
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員やボランティア来訪あり 消防訓練時消防との関わりあり 警察の巡回あり 実習生をうけ入れるにあたって学校とのつながりもある		利用者と実習生の交流として、運動会を学校に見に行った
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	見守り推進委員の訪問。訪問理美容。他のケアマネジャー訪問		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと月1～2回来訪あり 利用者と面談、希望に応じてきている。又、管理者の相談に応じてくれる		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族希望の病院などは家族の協力もありなじみの病院へ通院している 他は往診又地域の病院にも通院している		歯科、皮膚科の往診もある
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要時家人とも相談しながら受診したり、相談ののってくれたりするクリニックとのかかわりあいをもっている		利用者さん、家族さんが受診されることもあり、又、管理者が薬を取りにいくこともある。家族さんとは密に話し合っている
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が兼務しているため、利用者の健康状態が常に把握できている		スタッフが管理者に気軽に聞いたり相談しやすい。利用者の変化を伝えやすい。又、すぐに対応できる
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院できるようソーシャルワーカー、病棟看護師と各ケースごと話し合っている		入院中も常に連絡を取り合っている
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師・家族・管理者との話し合いを持ってすすめている	○	家族さんにも病状の話と一緒に医師より聞き、意向など伝え合う
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師・家族・管理者との話し合いを持ってすすめている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>自宅からグループホーム、病院からグループホームにこられる際は、家族さんと事前に話し合っている 部屋のレイアウト、不安になった時の対応等</p>		<p>入院前にご家族さんに部屋を見てもらい、レイアウトなどはなじみの物、本人の使いやすい物など、部屋の大きさに応じてしてもらっている</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>他の利用者さんの家族さんに聞かれても、プライバシーに関することは話さないように努める</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入浴時、居室、庭ですぐす等、1対1になる時間を作り希望を引き出す</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日の予定をその利用者の様子に応じて散歩、外気浴、入浴など決めている</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>2ヶ月に1度は出張の美容さんに来て頂いて本人希望の髪型を話していただく。訪問理美容は家族・利用者喜んでおられる</p>		<p>服・肌着・化粧品の細々したものはご本人希望されると、スタッフとともに買い物に出かけるようにしている</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、盛り付け、配膳などしたい方、できる方にはお手伝いしていただき、片付けも下膳できる方が他の方もしていただいたり、その中でスタッフも見守りながら行なっている		時には外食も事前に計画して、スタッフと1対1、 ・と協力して行なう 利用者さんの希望の料理を聞き、取り入れていきたい
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつなどは一緒に買い物に行った時にスタッフが把握して買ってきたり、色々なおやつを買いそろえて皆さんで見え選んでいただく		1階の前庭でジュース・コーヒー・アイスクリームを食べる
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿間隔をチェックしさりげなく声かけし、時には誘導したりする 必要場合はポータブルトイレを使っていただくが、なるべくトイレで排泄していただくよう心がけている		トイレと書かれた標識をつけ常に電気をつけて明るくしている 気持ちよく過ごしていただくため、夜更衣のときに下着(リハパンも含む)を声かけ又は見守りで交換するようにしている
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前・午後などの希望 体調などバイタルチェック 本人の希望を聞いて行なっている		入浴剤や冬至の時にはゆずを入れたりして楽しんでいただけるようにケアしています
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後は昼寝されたり、TVみられたりと自由な時間を過ごされています		夕食後すぐに入眠希望される方がおられ、談話やテレビ観賞、歌などを歌ったりしている
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗い物、食器かたづけ、食器拭き、洗濯物干したみなど好きな作業をしていただいている		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		庭での外気浴、近所への散歩などしている
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ玄関は施錠しているが日中はかけていない		エレベーターの危険回避には、すぐに使用できないよう工夫している
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者が常に見える位置に職員が常にいる		スタッフは利用者の生活パターンや個性が理解できていることが危険を防ぐこととなっている
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりに応じて置く場所に気をつけて職員が管理している		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットに記入し対策をすぐに立て、事故防止に取り組んでいる		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	新しい職員に管理者より指導している 又ケースごとに指導している		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	いかなる時も落ち着き、機敏に動けるよう心がけている 非常用の用品の点検に留意し、利用者が安全に避難できるようにしたい 消防訓練も行っている		定期的に消防訓練と消防設備点検、エレベーターの点検、非常口の確認を行なっている 地域の行事にも参加しコミュニケーションも取れていると思う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族さんには面会、電話、手紙などでお知らせしています スタッフ間ではケアノート、申し送りなどでつなげていけるようにしている		スタッフも家族さんとお話ができるように、すべての利用者のことを把握していけるようにしたい
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異変があるときはすぐに対応し、チェックシートをつけてみんなで確認しています		
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を見るようにして、目的を知るとともに一人ひとりの体調に気を配っています		
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給 庭で散歩 体操		食材の残りなどで野菜を多く取るようにしている
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけ・見守り・介助 歯科医師と話し、本人・スタッフにも説明していただきます。義歯の手入れも行っている		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取の少ない利用者さんには飲みやすい飲み物をすすめています 体重増加に気をつけながら食事の盛り付けに気を付けています		飲みやすいポカリスエットなどを飲んでいますが 体重が増えやすい利用者さんの食事量に気を付けています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ・・・手洗い・イソジンにてうがい ノロウイルス・・・トイレ・手摺り・ノブなどハイターの薄め液で拭く など対策している		季節関係なく日常的に行っている
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・コップ・ふきんは定期的にハイター消毒 冷蔵庫の整理は週1回 食材搬入は手渡し		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の周りにはプランタンで花植え 門などは日中はオープンにしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはご自分の席があり、壁には利用者と一緒に作った壁飾り 庭で摘んだものや散歩で見つけた野草を置く 時にはスタッフの家で咲いた花をかざる		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	決まったイス以外に誰でも座れるイスがあり、利用者さんはいろいろなところでくつろがれている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に家族の相談にのり、ホームよりのアドバイスをしながら好きなものを持ってきてもらう</p>		
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>掃除・リネン交換の時には必ず 利用者・スタッフの体感温度も大切にし 利用者にも尋ねながらエアコン調節している</p>		<p>10時・15時とおやつ前後、利用者さんをお願いして窓を開けていただいたり、湿度を保つようにしている</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手摺り・踏み台など利用している</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>自室には名札を貼っている 手作りカレンダー トイレの場所など目に付くところに矢印を貼る</p>		<p>なじみの顔、なじみのスタッフ</p>
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭が広いので天気のいい日には散歩や椅子に座ってひなたぼっこをしながら、ボール遊びやゲームを楽しんでいる</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一室一室趣きの違う広めのお部屋で、また、大きなリビングで、ゆったりとした時をすごしていただいています。